

総務常任委員会行政視察

提出者 吉田 つとむ

平成 30 年 5 月 7 日（月）～平成 30 年 5 月 9 日（水）

金沢市分 平成 30 年 5 月 8 日（火）産業及び観光の振興について

金沢市の企業支援の取り組みについて、「はたらこう課」についてを、記載

はたらこう課の主な活動

目的：金沢市で起業する人を増やす

事業内容：web サイトやフリーペーパー、イベント

web サイト：金沢市内で活躍する先輩起業家をリレー形式で紹介

\*説明では、若手企業家とされていました。

現在、21 名が登録されており、個別の紹介があります。

フリーペーパー：金沢市の起業支援に関する情報や活動を紹介

\*起業家のストーリーを深堀とされていました。

イベント：起業を関連づけたイベントを開催

\*起業家によるトークセッションとされていました。

「コアキナイ塾」というものが設定され、全4回のシリーズで案内がありました。

実績では、取り扱い件数の増大が主要な課題とされ、まず「相談件数の増大」が前年度比10%増の目標設定されていました。

まだ、「起業」の実績につながる成果を表示する段階ではなさそうでした。

金沢市は、歴史・文化に富んだ都市であり、伝統工芸や食の文化に優れたものが多数あり、その利点を活かした「起業のまち」、「起業が受け入れやすいまち」をめざしていました。

町田市は、すでに平成 25 年 1 月 29 日より、「町田市新産業創造センター」を設置しており、金沢市の事業よりはるかに先を行くべきものと感じました。

また、町田市は、その「起業」者が成功した場合、どのように地元貢献をできるかも新たな課題になっていると思います。

端的に言って、町田市では「町田市新産業創造センター」の入居経験者による株式上場が日の目をみることを最優先課題の一つにされないといけないと思いま

した。あわせて、それが町田市の企業として、上場がなされることも必須でしょう。

金沢市を視察して感じた点は、後者の「町田市の企業」としてあるかどうか問われるものと思います。